

## あとがき

日本物理学会九州支部が発足して昨年で50年が過ぎた。九州支部が発足したのは終戦翌年という日本中が混乱していた最中である。100名そこそこで発足した支部は、諸先輩の御尽力により、現在848名の会員を有し、国内で最も活発な活動を行っている支部の一つにまで発展してきた。

九州支部では50周年を記念し、九州における物理学の発展の道筋がわずかでも垣間見られる形で九州支部が歩んできた道を一冊の小冊子にまとめることにした。本冊子が今後の更なる発展の役立てば幸いである。

九州支部事務局で保管している資料は、一部欠落しているところがあり、不完全なまま出版せざるをえなかった。また、資料によると第18回と第19回例会がそれぞれ二度行われたことになっている。これは第19回例会のプログラムが第17回と誤記されたことによるようである。

本冊子を作製するにあたり、多くの方々にお世話になった。中でも、第1部に御寄稿いただいた諸先生方には、貴重な時間を割いていただきそれぞれ含蓄のある貴重なお話を提供していただいた。この場をかりて、厚く御礼申し上げます。また、資料などの作製を全面的にやっていただいた九州大学理学部極低温実験室の副島力氏には大変お世話になった。さらに、九州大学物理学科の園田美穂さん、赤穂直子さんにも世話になった。これらの方々にも改めて感謝の意を表します。

平成9年7月30日

日本物理学会九州支部  
50周年誌編集委員  
支部長 小田垣 孝  
庶務委員 白鳥紀一  
九大物理 副島雄児